

長期ステロイド使用後に脱ステロイド症状を時系列で記録した成人アトピーの経過 (40代男性)

症例 ID：001-40-FM | 記録日：2013年7月4日

1. 診断・治療前経過

高校時代から肘・膝裏・脛に痒みが出始め、近所の皮膚科で顔用と顔以外用の2種類の外用薬を処方されました。これがステロイドを使用するきっかけとなりました。

大学時代、就職後、転職後、離婚後など、複数回にわたり再発しました。47歳頃の再発では乾燥からの痒みとと思っていましたが、ステロイド外用を再開し、その後治療方針を考え直すことになりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	高校時代から顔用・顔以外用のステロイド外用薬を使用しました。喘息や再発時にも薬剤使用歴があります。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	高校時代から再発を繰り返す期間に断続的に使用しました。
中止時期	2013年1月の松本医院初診後に中止した経過です。
来院前／後	来院前に長期・断続的な使用歴があります。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
高校時代	来院前	肘・膝裏・脛の痒みでステロイド外用を始めました。
23～25歳頃	来院前	就職後の一人暮らし時代に再発し、複数の治療を試しました。
28～32歳頃	来院前	転職後の強いストレス下で再発し、ステロイド外用を続けました。
47歳頃	来院前	離婚後に再発し、乾燥による痒みとと思っていましたが、経過が長引きました。
2013年1月18日	治療開始	松本医院を受診し、漢方煎じ薬、漢方湯、外用薬、抗ヘルペス薬、消毒薬、抗生物質などが処方されました。
治療開始翌日～30日	初期	全身にアトピー症状が出始め、強い痒みと痛みがありました。胸のカポジ水痘様発疹症様の発疹が熱を持ち、眠れない状態が半月以上続きました。
治療開始4日目以降	初期	前腕から滲出液が出始め、耳・腕・肩・頭・足へ移っていきました。工作中にも耳から汁が落ちる状態でした。
治療開始30日以降	経過中	長時間の漢方湯入浴を続け、皮膚の落屑、リンパ液、痒み、痛みを伴う時期を仕事と並行して過ごしました。

4. ピーク時期

症状が強かった時期は、治療開始翌日から 30 日頃に全身の痒み・痛み、胸の発疹の熱感、不眠、前腕・耳・頭・足などからの滲出液が重なった時期です。

5. 困りごと

- ・休職せずにフルタイム勤務を続けており、新幹線や飛行機の乾燥で痛みが強くなりました。
- ・夜は眠れず、漢方湯に入っている時だけ眠れる状態でした。
- ・仕事中にも耳からの汁が書類に落ちるなど、職場での対応に困難がありました。

6. 経過のまとめ

2013 年 1 月に治療を開始した翌日から全身の痒み・痛み、胸の熱感、滲出液が出る時期を経験し、仕事を続けながら長時間の漢方湯入浴と外用処置を行いました。症状には波がありましたが、通院経過の中で、日常生活への負担が少しずつ減っていく変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。